

学校給食における異物混入について

出雲学校給食センターが提供した学校給食の中に、異物が混入していました。本件事案については、発生時に議員の皆様にご報告させていただいておりますが、改めて事故後の対応等を含め、下記のとおり報告し、お詫びいたします。

記

1. 発生日時・場所

令和4年(2022)1月17日(月)の給食時(12時45分頃)・稗原小学校5年生クラス

2. 発生時の状況

稗原小学校5年生クラスに配食された給食副菜「豚汁」に、糸状の金属異物1個(長さ:約40ミリ、太さ:約1ミリ)が混入していた。

児童が豚汁を口にする前に、汁の中に異物が入っているのを発見し担任へ報告し、当該児童に健康被害はなかった。なお、稗原小学校の判断により同校での豚汁の喫食を中止した。

12時46分、稗原小学校から出雲学校給食センターに異物混入の電話連絡があった。

3. 事故発生後の対応

出雲学校給食センター職員2名が稗原小学校に急行し、異物が「ステンレスたわし」と思われる金属であることを確認した。直ちに給食センターの他の配食校に連絡し、異常や健康被害がないことを確認した。

出雲学校給食センターでは「ステンレスたわし」は使用していない。また、食材納入業者から聞き取りを行い、「ステンレスたわし」を使用している業者はなかった。

なお、給食センターにおいて、すべての食材を調理前に金属探知機で検査しているが、豚汁に使用した食材を検査した際には金属反応を示さなかった。

4. 「豚汁」の使用材料

豚肉、さつまいも、にんじん、ささがきごぼう、豆腐、こんにゃく、みそ等

5. 混入異物の成分分析の結果

専門機関に成分分析を依頼した結果、混入異物はステンレス製の金属片であった。

6. 再発防止策

- ・食材納入業者が事前に金属探知機を通していない食材は、給食センターにおいて金属探知機に2回以上通す。
- ・金属異物は汁物の底に沈むため、給食センターでの調理時、釜の底の部分に残った汁は給食食缶には入れずに廃棄し、異物混入リスクを減らす。
- ・食材納入業者に対し、金属異物混入の原因となる調理器具を使用しないことを依頼した。

7. 混入異物写真



(ボールペンは比較品)